

# 安全データシート(SDS)

## 1 製品及び会社情報

製品名 組付剤(150cSt) XT0032000  
製品コード  
会社名 樋屋ケミカル株式会社  
住所(本社) 〒460-8330 愛知県名古屋市中前津二丁目9番29号  
担当部門 品質管理部  
電話番号 0566-82-5811 FAX番号 0566-83-2600  
緊急連絡の電話番号 同上  
主な用途 潤滑剤 : シスナーブーツ組み付け用  
作成日 2009年6月25日 改定日 (8版) 2022年2月23日

## 2 危険有害性の要約

### GHS分類

- 可燃性・引火性のエアゾール ※
  - 引火性液体 区分4 ※
  - 急性毒性 経口 ※
  - 経皮 ※
  - 吸入:気体 ※
  - 吸入:蒸気 ※
  - 吸入:粉じん及びミスト ※
  - 皮膚腐食性/刺激性 ※
  - 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 ※
  - 呼吸器感作性 ※
  - 皮膚感作性 ※
  - 生殖細胞変異原性 ※
  - 発がん性 ※
  - 生殖毒性 ※
  - 授乳に対する又は授乳を介した影響 ※
  - 特定標的臓器毒性(単回ばく露) ※
  - 特定標的臓器毒性(反復ばく露) ※
  - 誤えん有害性 ※
  - 水生環境有害性 短期(急性) ※
  - 水生環境有害性 長期(慢性) ※
  - オゾン層への有害性 ※
- ※は「区分に該当しない」または「分類できない」

### ラベル要素

#### 【絵表示】

シンボルなし

#### 【注意喚起語】

**警告**

#### 【有害性情報】

- 可燃性液体

#### 【安全対策】

- 裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙。
- 保護手袋/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用すること。

#### 【応急処置】

- 火災の場合には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を使用すること。

#### 【保管】

- 涼しく換気の良い場所で保管すること。
- 直射日光の当たる所や温度が40℃以上になる所、凍結する所には置かないこと。

#### 【廃棄】

- 中身を使い切ってから廃棄する。
- 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

### 3 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分名	CAS No.	含有量(%)	PRTR法No.	安衛法No.	備考
デカメチルシクロペンタシロキサン	541-02-6	95 ~ 98	非該当	非該当	

PRTR法No.: 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR法)  
対象化学物質の政令番号

安衛法No.: 労働安全衛生法 (安衛法) 第57条の2第1項政令指定物質の政令番号

### 4 応急処置

#### 【吸入した場合】

- \* 空気の新鮮な場所へ移動する。症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡すること。

#### 【皮膚に付着した場合】

- \* 皮膚を石鹼と水で洗うこと。

#### 【目に入った場合】

- \* 直ちに大量の清浄な流水で、15分以上洗浄する。瞼の裏まで完全に洗うこと。
- \* 刺激が強まったり続く場合には医師の診断を受けること。

#### 【飲み込んだ場合】

- \* 口をすすぐこと。直ちに医師の手当てを受けること。

### 5 火災時の措置

#### 【消化剤】

- \* 水[ ]、炭酸ガス[ ○ ]、泡[ ○ ]、粉末[ ○ ]、乾燥砂[ ○ ]

#### 【消火方法】

- \* 可燃性のあるものを周囲から速やかに取り除くこと。
- \* 消火作業は、指定の消化剤を使用し、可能な限り風上から行なう。

#### 消火を行う者の保護

- \* 適切な保護具 (耐熱着衣、有機ガス用防毒マスク、手袋等) を着用する。

### 6 漏出時の措置

#### 【人体に対する注意事項】

- \* 関係者以外の立ち入りを禁止する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。適切な保護具を着用する。

#### 【環境に対する注意事項】

- \* 安全を確認してから、流出防止の措置をとる。下水や水路、土壌への排出を避ける。

#### 【除去方法】

- \* 全ての着火源を取り除く(その場での喫煙、炎、スパークまたは火炎は禁止)。可燃性物質(木材、紙、油など)を流出物から遠ざける。
- \* 大量の漏出: 危険を伴わずに出来る場合には、物質の流れを止める。可能な場合は漏出物が広がるのを防止すること。プラスチックのシートで覆い、拡散を防止する。バーミキュライト、乾いた砂または土に吸収し、容器に収納する。
- \* 少量の漏出: 布等の吸収材で拭き取る。残った汚染を除去する為に床をよく清掃すること。
- \* 元の容器に回収して再使用することは絶対に避けること。

### 7 取り扱い及び保管上の注意

#### 【取り扱い】

- \* 炎、熱および発火源から遠ざける。取扱中は禁煙。
- \* ミストや蒸気を吸入しないこと。

#### 【局所排気・全体排気】

- \* 適切な換気を行う。

#### 【安全取り扱い注意事項】

- \* 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。

#### 【適切な保管条件】

- \* 熱、火花、裸火から離して保管する。換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。子供の手の届かないように保管すること。直射日光が入らない、涼しく乾燥した場所に貯蔵すること。

### 8 暴露防止及び保護措置

#### 【設備対策】

- \* 局所排気装置などにより作業者が暴露から避けられるような設備とする。
- \* 洗眼設備を設置する。

## 【保護具】

- \* 呼吸器用の保護具 : 通常、呼吸用保護具は必要ない。
- \* 目の保護具 : 側板付安全眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。
- \* 皮膚の保護具 : 保護手袋を着用すること。適切な保護衣を着用する。

## 【適切な衛生対策】

- \* 取扱中は禁煙。休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。適切な産業衛生および安全対策のもとに取扱う。

## 【許容濃度】

成分名	管理濃度	日本産業衛生学会	許容濃度 ACGIH(TLV)
デカメチルシクロペンタシロキサン	規定なし	規定なし	規定なし

## 9 物理的及び化学的性質

## 【物理的状态】

状態	液体: [ ○ ] 気体: [   ] 固体: 固体状[   ]、粉末状[   ]、ペースト状[   ]
色	無色透明
臭い	微臭
pH	測定不可(水溶解性を参照すること)
沸点/沸点範囲	210℃ [デカメチルシクロペンタシロキサン]
融点	データなし
引火点	77 °C [デカメチルシクロペンタシロキサン]
発火点	約400 °C
爆発限界	(上限) データなし (下限) データなし
蒸気圧	0.13kPa(20℃) [デカメチルシクロペンタシロキサン]
蒸気密度	>1 (空気=1.0) [デカメチルシクロペンタシロキサン]
蒸発速度	<1 (酢酸ブチル=1.0) [デカメチルシクロペンタシロキサン]
密度(比重)	0.96 (25℃)
溶解性(水)	不溶
オクタール/水分配係数	データなし
分解温度	データなし
粘度	130 ~ 170 mPa・s(25℃ E型粘度計 No.1ローター 1rpm)

## 10 安定性及び反応性

## 【安定性】

- \* 通常の条件では安定

## 【反応性】

- \* 強酸化剤と接触すると激しく反応する。

## 【危険有害な分解生成物】

- \* 不完全燃焼により、CO・NOX などが考えられる。

## 【その他の反応性情報】

- \* 危険な重合は起こらない

## 11 有害性情報

デカメチルシクロペンタシロキサン ( CASNo.541-02-6)

## 急性毒性

亜急性

経皮

NOAEL                  ラット                  &gt;=1600mg/kg, 28日間 (equivalent or similar to OECD 410)

亜慢性

経口

NOAEL                  ラット                  &gt;=1000mg/kg bw/day, 90日間 (OECD 408)

急性

吸入

LC50                      ラット                  8670mg/m<sup>3</sup>/hr (comparable to OECD 403)

経口

LD50                      ラット                  &gt;5000mg/kg (comparable to the now deleted OECD 401)

経皮 LD50	ウサギ	>2000mg/kg bw/day (comparable to OECD 402)
慢性 吸入 NOAEC	ラット	>=160ppm, 2年 (equivalent to OECD 453)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 眼に対する重篤な損傷性又は 眼刺激性 呼吸器または皮膚感作性 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性		皮膚刺激なし。一次皮膚刺激指数=0 (ウサギ)。 眼刺激なし。全刺激スコア0 of max. 0 (ウサギ)。 データなし 感作性なし (LLNA)。 細菌復帰突然変異試験:陰性 (OECD471)。 哺乳類細胞のin vitro 染色体異常試験:陰性 (チャイニーズハム スター肺由来細胞試験 OECD473)。 哺乳類細胞のin vitro 遺伝子突然変異試験:陰性 (マウスリンパ 腺細胞L5178Y OECD476類似)。 哺乳類赤血球小核試験:陰性 (ラット OECD474)。 哺乳類肝細胞を用いるin vivo 不定期DNA合成(UDS)試験:陰性 (OECD478)。
発がん性		2年間の吸入によるラットの慢性毒性/癌原性併合試験では、ヒト に関する発がん性の影響は見られなかった。 (EPA OPPTS 870.4300)
生殖毒性		NOAEL(P) : >=160ppm, NOAEL(F1) : >=160ppm, NOAEL(F2) : > 160ppm (二世世代生殖毒性試験 EPA OPPTS 870.3800 及び EPA OPP 83-6)
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		特定標的臓器(単回ばく露)の分類基準に該当しない。(有効な データに基づく)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		デカメチルシクロペンタシロキサンは一部の実験小動物の高濃度 投与試験で、一時的な肝臓の重量増等が観察されている。
誤えん有害性		データなし

**12 環境影響情報**

デカメチルシクロペンタシロキサン ( CASNo.541-02-6)

環境影響データ

水性 魚類	LC50	ニジマス	>16 µg/l, 96時間
	NOEC	ニジマス	>=14.4 µg/l, 90日 study : fish early life- stages
甲殻類	EC50	オオミジンコ	>2.9 µg/l, 48時間
	NOEC	オオミジンコ	>=15 µg/l, 21日 study : reproduction and growth
藻類	EC50	緑藻(Pseudokirchneriella subcapitata)	>12 µg/l, 72時間
	NOEC	緑藻(Pseudokirchneriella subcapitata)	>12 µg/l
生態毒性	知見無し		
残留性・分解性			
光分解	半減期(光分解 - 大気中) 10.4日間, 間接光分解		
加水分解	半減期(加水分解) 73.4日間 (pH7 および 25°C)		
生分解性	パーセント分解(好気性生物分解-易分解性) OECD 301, 易分解性なし。 パーセント分解(好気性生物分解-土壌) 0.08日間 土壌中の半減期, で22°C in tropical Wahiawa soil in closed system		

生体蓄積性 この物質は食物網の中で、生物凝縮されない。  
食物連鎖増幅係数(TMf) < 1 (現地調査)

生体蓄積性  
オクタノール/水分配係数 log Kow  
8.02 (25.3°C)  
生物濃縮係数  
16200 lipid-normalized, kinetic 種: コイ科

土壤中の移動性  
吸収  
土壌/沈殿物への収着 -log Koc  
5.17, 平均  
土壌/沈殿物吸着 -log Kd  
5.34, 平均

揮発性  
ヘンリーの法則  
3.13, indicating high potential of volatilization from water.

オゾン層への有害性 データなし

### 13 廃棄上の注意

#### 【地域の廃棄規制】

\* 焼却処理。その際、シリカの微粉が生成致しますので適切な設備での焼却をお願い致します。また、必要に応じて防塵マスク等の保護具の着用をお願い致します。廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。内容物/容器は、地域/地方/国/国際法律に従って処理する。

### 14 輸送上の注意

#### 【国際規制】

IATA

危険物には該当しない。

IMGD

危険物には該当しない。

MARPOL73/78条約の附属書II及びIBCコードによるバルク輸送

本製品は、ばら積み輸送用ではありません。

#### 【国内規制】

緊急時応急措置指針番号 128

### 15 適用法令

高圧ガス保安法	: 非該当
消防法	: 第4類 第三石油類 (非水溶性) 危険等級III
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 通知対象物質: 非該当 特化則 (非該当) 有機則 (非該当)
化学物質排出把握管理促進法	: 非該当
船舶安全法	: 非該当
航空法	: 非該当
港則法	: 非該当
海洋汚染防止法	: 非該当
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令	

**16 その他の情報 (引用文献)**

- \* 化学物質等安全データシート(MSDS)
- \* GHSに基づく化学物質等の分類方法 JIS Z 7252
- \* GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS) JIS Z 7253
- \* 産業中毒便覧(医歯薬出版株式会社)
- \* 14705の化学薬品(化学工業日報社)
- \* 改訂第2版 労働安全衛生法 MSDS対象物質全データ(化学工業日報社)
- \* 改訂第2版 緊急時応急措置指針(日本規格協会)
- \* 危険物船舶運送及び貯蔵規則(海文堂)
- \* GHS分類結果データベース(独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ)
- \* GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック 改訂第2版(日本塗料工業会)
- \* GHS対応版ラベル・MSDS作成マニュアル(日本オートケミカル工業会)
- \* 溶剤ポケットブック(オーム社)

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、全ての情報を網羅したのではなく、情報の正確さ、完全性を保証するものではありませんので、新しい情報によって改訂されることがあります。

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う事業者提供されるものです。取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。